



国鉄特急色で活躍した「きのさき」「はしだて」「こうのとりのり」用381系（福知山電車区）

初の振り子式車両として1973年に登場した381系。その特徴ある車両構造や室内設備、これまでの活躍の集大成を記録する作品です。 制作:2016年作品

旧国鉄形車両集

381系 振り子式特急形電車



税込 5,170円
TEJX-47016 80分



税込 4,180円
TEBJ-38073 80分

販売元 株式会社テイチクエンタテインメント 企画・製作・発売元 テラダプロジェクト
■JR 東海承認済・JR 西日本商品化許諾済

主な収録シーン

■ 振り電車の登場と車両紹介
登場背景や投入線区や振り構造の説明、各形式ごとの詳細カット、先頭車貫通路の構造や普段みられない角度からの映像など多数……

■ 思い出の381系「しなの」・「くろしお」

381系が最初に運用された「しなの」号。続いて紀勢本線にも投入され、2015年10月まで走り続けてきた「くろしお」。まだ、全ての381系が国鉄特急色オンリーで活躍中の時代や「くろしお」号については、二度のカラフルなJR色への変遷も紹介しながら、同車のありし日を振り返ります。



名勝、寝覚めの床を行く「しなの」（貫通形先頭車）

■ 現役の国鉄形特急「やくも」

2010年までに更新工事を終え、生まれ変わった「やくも」号用381系。新車然とした車内設備、急峻な伯備線を行き来するシーンなど陰陽連絡列車としての使命を担い、活躍するシーンを収録。国鉄特急色時代のシーン、旧JR色（一般車/Sやくも）も紹介しています。

■ 最後の国鉄色特急「きのさき」・「はしだて」「こうのとりのり」

151系「こだま」形以来、57年の伝統を受け継いだ列車たち

2012年より、京都・大阪から北近畿方面への特急列車として走っていた183系電車へ代わる車両として、381系電車が抜擢されました。新型への再交代まで、「くろしお」号車両の転用というショートリリフ的な活躍でしたが、投入に際しては往年の国鉄特急色が復活。定期列車で見られる例としては、全国でも唯一となり注目を浴びました。本作では2015年10月までの活躍の間、沿線各地の美しい風景を走る国鉄特急色381系の姿を4Kカメラで記録しました。



1、春爛漫の北近畿を走る「こうのとりのり」 福知山地区では振子の傾斜角度を抑えて運転。
2、リニア博物館保存車クハ381-1 3、パノラマグリーン車が先頭車となる「くろしお」
4、京都と福知山・城崎温泉を結ぶ「きのさき」
5、485系等と共通構造の高運転台 6・7、新車同然に生まれ変わった「やくも」用車両

取材先：JR 東海リニア鉄道館（展示当時のクハ381-11 未公開エリアシーン収録）・JR 西日本 福知山電車区 / 後藤総合車両所出雲支所